

平成28年1月 国見町教育委員会 会議録

- 1、召集日時 平成28年1月20日（水）午後6時30分
- 2、召集場所 国見町役場 中会議室
- 3、議席指定 1番委員 石川 博利
2番委員 志村 裕美
3番委員 高橋 幸子
4番委員 赤坂 正行
5番委員 岡崎 忠昭
- 4、議事録書名人 1番委員 石川 博利 5番委員 岡崎 忠昭
- 5、欠席委員 赤坂正行委員
- 6、説明のため出席
教育次長兼学校教育課長 引地 由則
幼児教育課長 中田 利枝
生涯学習課長 羽根 洋一
指導主事 齋藤 雅敏
- 7、書 記 学校教育課主任主査兼学校教育係長 黒澤 敦子
- 8、開 会 午後6時30分

9、議題の上程

○議案第1号 国見町特別支援教育就学奨励費支給要綱について

（事務局説明）

高橋議長：国に準じているとの説明であったが、町でどうこう出来る段階ではないということか。

引地次長：はい。

高橋議長：財源は国から出るのか。

引地次長：1/2は国からの支給と残り半分は町負担である。

高橋議長：意見質問はあるか。

高橋議長：ほかにないか。異議ないか。

（異議なし）

高橋議長：議案第1号 承認されました。

○議案第2号 平成28年度国見町教育委員会指導の重点について

（事務局説明）

高橋議長：最後の表がとてもわかりやすい。この指導の重点に沿って平成28年度の年間の様々な計画が作られていくことすばらしいと思う。

教育長：今後、字面や細部の修正、追加なども出てくることもある。

高橋議長：意見質問はあるか。

高橋議長：ほかにないか。異議ないか。

(異議なし)

高橋議長：議案第2号 承認されました。

10、教育長事務報告

教育長：①12月定例議会では、一般質問で松浦和子議員から保育の充実として要望等を含めた質問があった。また、渡辺勝弘議員から町防災訓練が小学校の学習発表会と日程が重なったことから、防災訓練に小学生も一緒に参加できないかとの質問があった。学校行事は日程変更ができないことから、来年度は町の防災訓練の日程を動かす事になる。小中学生も町民の一人であるので、一緒に出来れば一番良い。ただし、小中学生も中体連やスポ少、県の行事等は動かせないので、調整しながら進めて行きたい。

②いじめ防止条例について、今回正式に総務課から提案をいただき条例を制定することができた。平成28年4月1日施行で進めていきたい。

③全国学力テストと並んで福島県学力テストがあり、平成27年11月に小学5年生と中学2年生を対象に実施した。中学校で実施している英語のアシスト授業などの効果が出てきていると思われる結果だった。

④生涯学習課主催の子ども司書講座に小学生14人が受講した。子ども自身が読書に取り組む活動としていきたい。

高橋議長：学力テストの件で英語のアシスト授業が行なわれたとのことだが、他の自治体もそのような取組みは行なっているのか。

教育長：例えば郡山市では土曜日に寺子屋授業を実施している。

高橋議長：伊達市周辺はあまり良くないといわれるなか、県北中でこれだけの成果があるのは、どのような理由があるのか。

教育長：子どもたちが落ち着いて勉強できるように先生方が一生懸命取り組むことが基本にあり、町教育委員会、生涯学習課等で中学生を対象に英検受験のための講座や、小学生を対象に夏休み・冬休みの学習会などを実施することでサポートしている。少しずつしか出来ないがこれらが学ぶきっかけになり効果を上げているのではないかと。予算の関係もあるが、できる限りこのような活動を太く・長く、続けることで「国見の教育はこういうことができる」としたい。

高橋議長：他町を疑似することなく様々な取組みが実を結び、結果がでたのは素晴らしい。

教育長：目先の学力だけの授業では子どもはやらされていると感じ疲れるだけである。子どもたちには、なぜ勉強するのかということ自分を問い、自分で答え、納得し勉強する、自分からやる子どもになってほしい。図書館で読書を幅広く大事にしたいという事もそのねらいである。なんのために学ぶのかということ、子ども自身で感じながら勉強をしなければならぬ。

これから国見学をやっていくが、地域の知識を捉えるだけではなく、地域の課題を見つけたら子ども自身が「解決してやる！」という学ぶモチベーションになれば。そういう事を大事にして授業を組んでいき少しずつ効果が出ればよい。

高橋議長：私が接した子どものなかに、文字で出た問題に文字あるいは選択肢で回答は出来るが、質問してみると答えられないなど、上手く表現ができない子どもがみられることから、自分の思い

を伝えることを大事にしてほしい。

1 1、各課報告

学校教育課：①国見小学校でインフルエンザが流行し、6年1組と3組は明日から2日間の学級閉鎖となる。

②2月20日（土）に東京藝術大学と福島大学と中学生によるワークショップ

③2月24日（水）コミュニティ・スクール委員会

（各学校評価の説明と国見の子どもの未来についてのグループにてディスカッション）

④2月22日（月）教育委員会

⑤2月26日（金）あつかし会

⑥3月11日（金）県北中学校卒業式

⑦3月18日（金）くにみ幼稚園卒園式

⑧3月19日（土）藤田保育所満了式

⑨3月23日（水）国見小学校卒業式

⑩3月28日（月）離任式

⑪4月 1日（金）着任式

幼児教育課：平成28年度の藤田保育所の申込状況は、定員72名に対し5月以降の途中入所者を含むと71名になる。くにみ幼稚園の入園率は対象児童143名に対し135名で、95%の入園率となる。その園児の70%が預かり保育を利用している。子どもクラブについては、平成25年9月から対象を6年生まで拡大し、年々4年生以上の児童が多くなっている。定員140名と一時利用者が10名の合計150名であるが、143名の利用がある。多くの児童が各施設を利用することから、新年度に向けて受け入れ出来る体制を整備していきたい。屋内あそび場「くにみももたん広場」の利用状況は12月の入場者2,236名で、延べ入場者数の1日平均は108名である。天気や休みに左右されるが、利用者は安定しているのではないかと思われる。

生涯学習課：①1月24日（日）「貝田宿まるごと博物館」について

②1月30日（土）文化財講演会 阿津賀志山防塁の真相に迫るⅢ について

③2月6日（土）「若い芽のつどい」について

④2月7日（日）第24回 国見町長杯 「囲碁・将棋大会」について

⑤2月11日（祝）NHKおかあさんといっしょ宅配便「ポコポッテイト小劇場」

⑥3月13日（日）三井住友海上文化財団派遣コンサート

「真知亜@nakama.<楽器の魅力>」

⑦阿津賀志山防塁整備基本構想 概要版チラシについて

1 2、その他

羽根課長：社会教育委員から教育委員会の傍聴と委員間の意見交流会をしたいと申入れがあった。まだ、具体的に決まっていないが、2月の教育委員会の傍聴が可能であれば、その後に意見交流等が出来ればお願いしたい。

高橋議長：教育委員会は原則公開である。社会教育委員からの依頼なのか。

羽根課長：社会教育委員から、教育委員会の活動を見ることで自分達も研鑽していきたいとの話があり、教育委員会を傍聴し意見交換したい。可能であれば2月もしくは3月の教育委員会をお願いしたい。

高橋議長：会議は日中がいいのか。

羽根課長：委員の方にご案内し、可能な方があればということである。

高橋議長：3月は卒業式の後の開催になるので、2月がよいのではないか。

羽根課長：3月は難しいので現実的には2月となると思われる。2月の議案としては、補正予算の関係も含めての話になると思うので、可能であれば進めたい。

高橋議長：せっかくの機会であるので、よいと思う。

教育長：3月の教育委員会は教職員人事の関係があり一部非公開で行いたい。

石川委員：今回の様に内容が濃い議案の場合は、事前に資料をいただき中身を見て話し合いたい。もう少し読み込みたい。

高橋議長：これから読んでいただき意見をいただければと思う。

13、閉 会 午後7時15分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成28年1月20日

議事録書名人

1 番委員

5 番委員

会議書記 学校教育課主任主査兼学校教育係長 黒澤 敦子